

水道かわら版

生まれ変わる 庭窪浄水場

通水開始から

半世紀を経て



大阪府営水道の歴史の発端となったのが、庭窪浄水場。昭和26年に現在の東大阪市へ初めて給水を開始しました。以降も、水需要の増加に因應するため施設の増設を行い、昭和36年には、府内23市町村へ給水するに至りました。増大する水需要に因應するため、村野浄水場、三島浄水場が整備されたことにより、現在では、守口市・門真市・大東市・東大阪市・八尾市の各市へ給水を行っています。

◎発行
大阪府 水道部
〒540-0012
大阪府中央区
谷町2丁目3番4号

◎電話(代表)
06-6941-0351
(内線 3244)

◎ファクス
06-6944-6868

高度浄水処理施設 導入に併せて 老朽化施設を更新

庭窪浄水場では、建設から半世紀を経た今日、老朽化も進行より安定した浄水処理を続けるために施設の更新が必要になりました。そこで、高度浄水施設の導入に併せて老朽化施設の更新に着手。平成6年4月に第1期工事がスタートし、平成10年7月には、高度浄水処理水の供給を他の2つの浄水場(村野・三島)と同時に行うことができました。平成13年8月には北系ろ過池棟、11月には送水ポンプ棟が完成しました。今後、南系施設の建設、生物処理施設等の建設を進め、平成17年度の完成に向けて取り組んでいきます。

 大阪府 水道部

<http://www.pref.osaka.jp/suido/>

この小冊子は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。